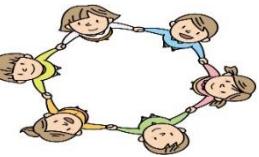


つな GOOD !



かつ

どう

ほう

こく



誕生して1歳を迎えました！

この1年間に横須賀市民の皆様、関係機関の皆様に当法人の活動の必要性や意義をご理解して頂き、様々な形でのご協力ご支援に対しまして大変感謝申し上げます。20名の方からは「賛助寄付金」と7名の方からは「生活必需品（食料、家電、生活用品）」を、また金沢区の「フードバンクかながわ」よりは「食料品」を頂き誠に感謝申し上げます。

次に、今年1月より市社協、県社協、地域貢献を重要視している3つの社会福祉法人のご協力を得て当法人含め6団体で【横須賀の生活困窮者支援を学び考える会】を発足し情報事例交換をし横須賀市民で生活に困っている方にどのような支援ができるかを考えています。

更に横須賀市役所生活支援課、4つの社会福祉法人、1つの医療法人をお説いていきます。

そして、当法人の予算の60%が【賛助寄付金】です。残りの40%は2022年度から、
【横須賀市市民協働推進補助金】を得ることができます。市役所からのコメントでは

「公益性が高く、今の時代に必要となる事業だと思われます」との評価をして頂きました。

つきましては、多くの期待や信頼に対して応えていけるように利用者の最善の利益と権利を守り、また市民からの税金が有効活用となるような活動をし、社会の信用を損なわない法人運営を心掛けていきたいと思っています。

代表理事 原 裕樹

かい

いん

しょう

かい



「さーくる横須賀」の会員の『じゅんこさん！』を紹介します！

仕事を通して関わる高齢者やそのご家族には、本当に多くのことを学ばせていただきました。また、仕事の傍ら「スーパービジョン」の勉強にも取り組みました。目の前に助けを求める人がいたら、まずその方の「話を聞く」ことから始めます。人は話することで頭や心の整理ができます。難題にぶつかった時にいつも思うことは、人とのつながりの大切さです。拘っていた自分の考え方の視点を変えることでスムーズに解ける思いと同時に、自分を支えてくれる仲間のありがたさを何倍か味わってきました。人の価値観や生きてきた歴史は様々です。これからもお互いを認め合い尊重する気持ちを心に置き支援活動をしていきたいと思っています。